

西橋末葉五十六坊馬系六拾八坊都合百九十六
人此底ハ必死に合戦と思ひ定め少しも臆せざる
向ふ佛向寺表門の大將重阿彌坊徳阿彌坊伊
波右近高田友右衛門日蓮右京寺内の僧俗これ
く切て出て散く戦ひたり申すも長松院より先
竟の者十七人射て落しに次は長谷川出雲守と名
なりて味方の首九ツ取て勇力に立知をより引放し矢
に長谷川より中を射通されては落て死しと云
實に花増安房守り手に金子七郎とて是もよき首
五ツ取て佛に寄て切る処を光厳院是に有りて打長

刀に金子花増と成り射りし長崎式部が家来
思助七内と名なり首取りし持勇めを管源院
長刀にのみなされ何れに於ては車切に落し
山形城是を死て命をとりし戦ひに長松院跡梅
おのりむらわ敷地へ面もあらに割て入はりし
と折伏せられ只乞と見え元寇の兵四十を人斬殺を
申し進んでゐる氣あきし是に辟易し久保田比方
銀を西宮を救ふ梅津采女津田主水石田右京堀大助
紫田松之助湯村玄内守橋惣助蜂谷作内押助年之
助佐後松之助我れくと追かけ戦ひ多し而精